

4	下水道局	お客さまの安全を守り、安心して快適な生活を支える施策																																		
事業概要	<p>東京都の下水道管の総延長は、23 区だけで東京とシドニーを往復する距離に相当する 1 万 6 千 km にも及ぶ。また、東京都における 20 か所の水再生センターでは、日々、東京ドーム 4 杯分に相当する約 540 万 m³ の下水を処理している。</p> <p>しかし、初期に整備した下水道管や水再生センターなどは老朽化が進み、対策が必要となっている。同時に、増加する局地的な豪雨による浸水被害や、首都直下地震などへの対策も進めていかなければならない。</p> <p>このため、様々な施設整備を計画的かつ効率的に推進するとともに、道路陥没対策など予防保全を重視した維持管理を実施していくことで、都民の安全を守り、安心して快適な生活を支えていく。</p>																																			
これまでの経過	<p>【再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> アセットマネジメント手法を用いて、延命化や中長期的な事業の平準化を勘案し、計画的かつ効率的に下水道管や水再生センターなどの再構築を実施 整備年代が古い都心 4 処理区の下水道管の再構築を平成 41 年度までに完了させるため、整備手法の工夫により枝線整備ペースを約 2 倍にアップし実施 再構築時の能力を補完する代替幹線の整備や水再生センター間のネットワーク化を進め、再構築を効率的かつ着実に実施 <p>【浸水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 時間 50 mm の降雨への対応として、浸水の危険性が高い対策促進地区 20 地区に加えて、浅く埋設された幹線流域などの重点地区 20 地区でも対策を実施 東京駅八重洲口地区など、大規模地下街では、1 時間 75 mm の降雨への整備を実施 昨年の浸水被害を受け「豪雨対策下水道緊急プラン」を策定し、最大で 1 時間 75mm の降雨に対応 <p>【震災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道管の耐震化やマンホールの浮上抑制対策を、ターミナル駅や災害復旧拠点などに対象を拡大して実施 水再生センターやポンプ所で、震災時にも必ず確保すべき機能を担う施設の耐震化や電気設備などへの浸水を防ぐ耐水化を実施するとともに、非常用発電設備などの自己電源を増強し、停電や電力不足に対応 																																			
現在の進行状況	<p>【再構築】</p> <table border="1" data-bbox="268 1350 1393 1469"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>平成 25 年度末</th> <th>平成 26 年度末(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築が完了した面積の割合</td> <td>16,300ha</td> <td>32%</td> <td>36%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度の主な内容 枝線の再構築 751ha 実施 (見込) <p>【浸水対策】</p> <table border="1" data-bbox="268 1547 1259 1626"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>平成 25 年度末</th> <th>平成 26 年度末(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水道 50 mm 浸水解消率</td> <td>56,300ha</td> <td>67%</td> <td>67%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度の主な内容 練馬区中村地区の主要枝線整備など <p>【震災対策】</p> <p>排水を受け入れる下水道管を耐震化した施設数</p> <table border="1" data-bbox="268 1738 1412 1859"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>単位</th> <th>目標数値</th> <th>平成 25 年度末</th> <th>平成 26 年度末(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難所など</td> <td>か所</td> <td>2,500</td> <td>2,633</td> <td>2,633</td> </tr> <tr> <td>ターミナル駅、災害復旧拠点など</td> <td>か所</td> <td>1,000</td> <td>3</td> <td>185</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度の主な内容 182 か所実施 (見込) 					区部下水道事業の取組	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)	第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築が完了した面積の割合	16,300ha	32%	36%	区部下水道事業の取組	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)	下水道 50 mm 浸水解消率	56,300ha	67%	67%	区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)	避難所など	か所	2,500	2,633	2,633	ターミナル駅、災害復旧拠点など	か所	1,000	3	185
区部下水道事業の取組	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)																																	
第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築が完了した面積の割合	16,300ha	32%	36%																																	
区部下水道事業の取組	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)																																	
下水道 50 mm 浸水解消率	56,300ha	67%	67%																																	
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)																																
避難所など	か所	2,500	2,633	2,633																																
ターミナル駅、災害復旧拠点など	か所	1,000	3	185																																
見通し	各施策の事業については、経営計画 2 0 1 3 に基づき着実に推進していく。																																			
問い合わせ先	下水道局 計画調整部 事業調整課			電話	03-5320-6597																															

